

きぼう

明石市立大久保北中学校 第2学年
学年通信 第71号(171)
令和元年12月11日(水)

とにかく努力してみる。そうすれば少しずつでも自信が生まれる。

学校ホームページ URL : http://scwww.edi.akashi.hyogo.jp/~jr_okbn/

生徒会執行部が決まりました！

先週火曜日に生徒会選挙が行われ、次期生徒会役員が決まりました。立会演説会では、立候補者が堂々と自分の思いを訴えました。どの候補者も、学校をさらに良くしていこうという思いは一緒に、来年度への意欲が伝わってきました。責任者となって、応援演説をしてくれた人もご苦労様でした。一人一人がこれまで以上に高い意識を持って生徒会を応援し、支えていきましょう。



また、選挙管理委員のみなさんや、開票作業を行ったHR委員のみなさん、ご苦労様でした。

3学期からは、新役員が中心となって生徒会の運営にあたります。いよいよ2年生が学校のリーダーになります。生徒会役員を支えていくのは会員のみなさんです。特に同学年の協力は絶対です。3学期には、専門委員会をはじめ、3年生を送る会や生徒集会を運営していくことになります。取り組みへの協力をしていくことで、生徒会を支えていくことができますね。



< 成長すること >

人間はいろんな形で絶えず試練を受けています。その苦しさの中に身を置いて、その場を乗り切ったとき、大きく成長すると思います。生涯を通して、楽しいことよりはむしろ辛いことの方が多いのではないのでしょうか。これを喜びや楽しさに変えていくのは、自分自身の心の姿勢だと思っています。楽なことだけを求めては生きていけません。あえて難局に立ち向かい、それを乗り越える勇氣と姿勢を持つことは必要なことだと思います。

< 中村 哲・アフガニスタンでの医療活動 >



今月4日、戦乱が続くアフガニスタンで干ばつと戦ってきた医師・中村哲さんが銃撃され亡くなった。ソ連による侵攻、激しい内戦、アメリカなどによる空爆、そして相次ぐテロと、大国や国際情勢に振り回され続けてきたアフガニスタンにあって自らの信念に基づき翻弄される人々を救う活動をしてきた。当初は診療所を開いたものの「背景にある貧困解決が不可欠だ」と医療支援から干ばつや貧困対策へと移行。「戦乱は武器や戦車では解決しない。農業復活こそがアフガン復興の礎だ」と白衣を脱ぎ、用水路建設に乗り出した中村医師。長年の努力の末、用水路は完成、大地に緑がよみがえり、人々の平穏な営みが再び始まろうとしている矢先だった。近年は治安が悪化し、支援団体が次々と撤退する中でも「現地から本当のニーズを提言していく」と現地での活動を続けてきた。

★★每学終了★★

～12月9日(月)

- 20冊目…
- 9冊目… 8冊目…
- 6冊目… 5冊目…
- 4冊目… 3冊目…
- 2冊目…